

# プロフェッショナルのワークスタイル

合同会社デロイト トーマツ／ファイナンシャルアドバイザリーのプロフェッショナルは、さまざまなワークスタイルを実現しています。



## コーポレート ファイナンシャルアドバイザリー／ 日々クライアントと向き合うプロフェッショナルのワークスタイル

コーポレート ファイナンシャルアドバイザリー シニアコンサルタント  
新卒入社／M&A／働く環境・魅力



## バリュエーション&モデリング／多様な定量モデルを操る若手マネジャーのワークスタイル

バリュエーション&モデリング  
マネジャー  
女性活躍／M&A／異業種からの転職



## デジタル／フレキシブルワークを活用した文武両道のワークスタイル

ローテーション（デジタル） アナリスト  
新卒入社／若手活躍／働く環境・魅力



## ストラテジー／育児と両立したプロフェッショナルのワークスタイル

ストラテジー マネジャー  
Sler／コンサルティングファーム出身  
育児との両立／社風／働く環境・魅力

# コーポレート ファイナンシャルアドバイザー／日々クライアントと向き合うプロフェッショナルのワークスタイル

※役職・内容はインタビュー当時のものになります。



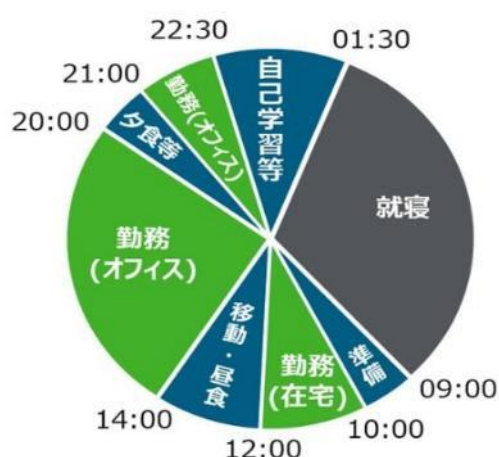
N.T.

合同会社デロイト トーマツ／ファイナンシャルアドバイザー  
コーポレート ファイナンシャルアドバイザー シニアコンサルタント

新卒入社／M&A／働く環境・魅力

2020年4月に新卒で入社。ローテーション制度にて複数の部署を経験後、コーポレート ファイナンシャルアドバイザー（CFA）部門に本配属となり、主に金融機関のクライアントを中心にM&Aアドバイザー業務を提供。M&A案件において、プロジェクトマネジメント支援、デューデリジェンス（DD）実施支援、事業計画分析、株式価値分析、ストラクチャー検討に係る助言、各種契約書類の作成に係る助言、最終契約交渉に係る助言など、幅広い業務に携わる。

本ページでは、金融機関による海外フィンテック企業への出資案件における、とある1日を紹介する。



## 10:00 始業（自宅）、チームMTG

在宅勤務で業務を開始します。

1案件あたり4~5人のメンバーで担当しており、毎朝チームメンバーとのオンラインMTGで一日のTo Doを確認します。新しいタスクや進捗が滞っているタスクがあれば期限や対応方針の認識をすり合わせます。また、クロスボーダー案件では時差の関係で深夜にクライアントから問い合わせが来ることもあり、急を要するものがあれば朝一番で対応します。

CFAには、案件の状況やフェーズに応じて、クライアントから相談や作業依頼が日常的に寄せられます。こうした問い合わせに迅速に対応することで、案件が円滑に進むようサポートしています。



## 13:00 出社、昼食

昼からオフィスへ出社します。

出社日の昼食は、オフィス近くの飲食店やオフィス内にあるカフェでとります。

（写真はオフィス内のカフェの小松菜チキンカレーです。）



## 14:00 業務再開（オフィス）

プロジェクトチームのアナリスト・コンサルタントと作業方針の確認MTGを行います。

当案件ではデューデリジェンス（DD）プロセスが進行しており、CFAは円滑にDDが進行するよう各分野（財務・税務、法務、ビジネス、IT、人事など）のDDチームとクライアントをサポートしています。DDには法律事務所やデロイトの海外メンバーファームを含む多くのメンバーが関わるため、チーム全体に気を配る必要があります。DDプロセスにおけるCFA業務としては、クライアント要望の各チームへの連携や、対象会社に対する各チームからのQ&Aシートの取りまとめ、対象会社へのインタビュー設定など、ロジ周りの作業が多く発生します。これらの業務はアナリストも担当するため、シニアコンサルタントはアナリストへ作業指示を出しながら、案件が円滑に進行しているかを継続的にモニタリングします。



## 16:00 クライアントとの電話、作業

案件によっては、CFA業務の一環として、対象会社の事業計画分析や修正事業計画に基づく株式価値分析を実施することがあります。事業計画分析では、対象会社が提出した計画の蓋然性の検討や、クライアントの意向の反映などを行い、事業計画を調整します。これらの分析はクライアントからのインプットを基に進める必要があるため、クライアントとの対話を通して分析に必要な情報を収集します。また、DDの中で株式価値に影響する可能性のある事項が発見された場合、その取扱いについてもクライアントと相談します。



## 18:00 クライアントMTG

案件終盤になるとM&Aの最終契約についてのMTGが頻繁に設定されます。今回の案件では、DDや株式価値分析の結果を見ながら、最終契約書にどのような内容を盛り込むべきか助言します。法務アドバイザー（弁護士）と連携して助言を行いますが、CFAは主に経済性の観点から契約書に盛り込むべき内容を助言します。また、取引相手方との交渉の方針についても助言します。

## 20:00 夕食

他部門の同期職員とオフィス近くの飲食店で夕食をとります。同期職員とは普段の業務であまり関わらないため、業務外では積極的にコミュニケーションをとるようにしています。

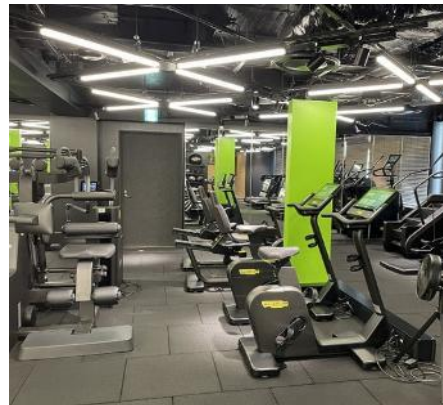
## 21:00 業務再開（オフィス）

一日でやり残した細かい作業や、オンライン研修の受講などの所内業務を行います。また、翌日のタスクの整理もこの時間に行います。

## 22:30 終業、趣味

終業時間は日によってバラつきがあり、夕方早めに終わることもあれば、遅い時間まで作業に追われることもあります。早めに終業した日にはテニスをしたり、事務所内に併設されているFitness Parkで身体を動かすようにしています。また、資格の勉強や読書などの自己研鑽も終業後に行います。

（写真は、事務所に併設されているFitness Parkで、デロイトトーマツグループの社職員は無料で使用できます。更衣室やシャワールームも完備され、[Fitness Park](#)利用時に限らず、皇居ランなど、Innovation Park外での運動の際にも利用できます。）





## Nさんにインタビュー

### Q. 普段行われている業務を教えてください。

A. CFAでは、M&A案件の組成からクローリングまでの各フェーズで案件が円滑に進行するよう、クライアントの一番の相談役となってクライアントをサポートします。具体的には、Pre-M&Aフェーズにおける出資先・売却先候補の選定支援や、M&Aフェーズにおけるプロジェクトマネジメント支援、DD実施支援、事業計画分析、株式価値分析、ストラクチャー検討に関する助言、各種契約書類の作成に関する助言、最終契約交渉における助言など、多岐にわたる業務を提供しています。

また、業界調査案件やCVCの投資方針の策定支援案件など、M&Aに直接的には繋がらない案件もしばしばありますが、これらの案件でもCFAとしての財務的な知見や業界知見を組み合わせる業務提供しています。

シニアコンサルタントとしては、案件内でほとんどの業務を一通りこなせることが期待されているため、私自身も極力マネジャーの手を煩わせないよう業務を遂行することを意識しています。また、クライアント担当者のメインの窓口となってコミュニケーションをとる案件も増えてきたため、クライアントから受けた問い合わせや依頼に即時に対応できるような財務・業界知見を身に着けることの重要性を感じながら業務にあたっています。

### Q. 業務で大変なことについて教えてください。

A. M&A案件では、状況が刻々と変化するため、クライアントに対して適時かつ的確なアドバイスを提供することが求められます。クライアントが課題を抱えた際に最初に相談を受けるのがCFAですが、クライアントの指示を待たずに先回りして助言を行うことがクライアントからの信頼獲得につながります。特にイレギュラーな事態が発生した場合には、迅速に対応方針を検討し、クライアントへの助言を行う必要があります。対応方針の検討は通常、マネジャー以上がメインとなって行う一方で、助言に必要な分析資料の作成はメンバーが担当するため、チーム全体で迅速に対応することが重要となります。



### Q. 当社の魅力を教えてください。

A. 個人の成長環境として非常に良い環境が整っていることが魅力だと思います。

多くの案件を少人数で回しているため、若手にも早期に成長することが求められており、主体的に業務に取り組めば案件の根幹に関わる仕事も早期から任せてもらえる環境にあります。さらに、当社にはさまざまなサービスラインや案件があるため、各自の興味や能力に合った仕事も見つけやすいと感じています。

そのため、財務に興味があり、個人の成長環境も重視する方には非常に適した会社だと感じています。



## Q. 当社に関心を持っている方へメッセージをお願いします。

ファイナンシャルアドバイザーはその名前のとおり、財務的な知見を軸としてクライアントへサービスを提供しています。財務的な知見はどのようなビジネスにおいても欠かせないものであり、その専門性を新卒1年目から高められる環境は貴重だと思います。

業務にはプレッシャーもありますが、その分成長を実感できる仕事ですので、興味をお持ちの方はぜひチャレンジしてみてください。

# バリュエーション&モデリング／多様な定量モデルを 操る若手マネジャーのワークスタイル

※役職・内容はインタビュー当時のものになります。



## T.C.さん

合同会社デロイト トーマツ／ファイナンシャルアドバイザー  
バリュエーション&モデリング マネジャー

女性活躍／M&A／異業種からの転職

事業会社、コンサルティング会社を経て、2021年1月に当社に中途入社。

入社後はバリュエーション（価値評価）部門にて、企業価値評価、PPA（Purchase Price Allocation）などの業務に従事。本ページでは、PPAで有形固定資産評価案件でのとある1日を紹介する。



## 9:00 始業（自宅）

在宅勤務を開始。日中はミーティングで時間が埋まってしまうことが多いため、朝にメールチェックやミーティングに向けての関連資料確認等を行い、当日一日のスケジュールを確認します。

基本的にバリュエーションチームは在宅勤務での作業が多いですが、有形固定資産評価の成果物進捗状況の確認のため、本日は午後から出社しプロジェクトメンバーとのミーティングを予定しています。



## 12:30 昼食、移動

昼食を挟み、オフィスへ移動します。基本的に昼休憩の取得タイミングは自由です。昼食はその日の業務量に合わせて、時間があるときは簡単に作ったり、忙しいときはデリバリーを頼んだりします。

この日はオフィスへの移動のついでに家の近くのお店で外食しました。

## 13:30 業務再開、ミーティング（オフィス）

入社時はシニアコンサルタントだったので、主に成果物作成の実務作業をメインに行っていましたが、マネジャーに昇進してからは、プロジェクトメンバーの作業内容・成果物のレビューやプロジェクトの進捗管理、提案活動が主な役割になりました。

本日はプロジェクトメンバーとの定例会議を実施し、成果物進捗状況の確認、作業を進める中で生じた課題に対する解決方法や今後の進め方について議論を行いました。



## 17:30 クライアントの緊急対応

移動を挟もうとしていたところ、急遽別のバリュエーション案件で、予定より早めに株式価値分析結果が欲しいとのクライアントからの連絡があり、対応しました。競争入札形式のM&Aでの競争相手の動向を踏まえたスケジュール見直しなど、今回のように事情次第では当初よりも前倒しの対応をお願いされるケースもありますが、メンバーの稼働状況を鑑み、いつまでにどの程度まで報告するべきか、クライアントとコミュニケーションを密に取って調整します。



## 19:30 移動、夕食

日中の業務に区切りが付いた後は、自宅へ移動して夕食を取ります。

## 21:00 業務再開、作業（自宅）

日中はミーティングが多いため、定量モデルの確認や修正等、手を動かす作業は夕食後のタイミングで行うことが多いです。バリュエーションではテクニカルな実務論点や会計基準の違いによる取扱いの差などが存在するため、複数の参考書を購入して日々新しい知識を取り入れています。（ちなみに、ファイナンシャルアドバイザーのバリュエーション部門では「M&A無形資産評価の実務（第四版）」という本を出版しています。）



## 22:00 終業、勉強

現在CFA（Chartered Financial Analyst®の略称、米国証券アナリスト）の資格取得に向け勉強をしています。金融業界は特に資産運用部門やアナリスト部門で資格保有者が多いとされていますが、バリュエーション部門でも多数のCFA資格保有者が在籍しており、勉強内容も業務に関連する部分が多いことから挑戦してみようと思ったのがきっかけです。



## Tさんにインタビュー

### Q. どのような案件があるか、また業務のイメージを教えてください

A. バリュエーションというと企業価値評価のイメージが強いと思いますが、PPAや減損テスト、内部専門家業務など会計目的での評価案件も多いです。また、事業計画策定支援、財務モデリングなど評価業務とは異なりますが、バリュエーションチームが知見を保有する専門性の高い業務も提供しています。

M&Aディールにおける企業価値評価業務を取り上げて詳細をお話すると、バリュエーションチームは、トランザクションチームが実施する財務DD（デューデリジェンス）やその他DDの結果見つかった発見事項やリスクを、どの程度評価に織り込むのかを検討した後、評価結果をクライアントに提示・協議する役割を担います。評価結果は直接クライアントの意思決定や価格交渉に影響する重要な成果物です。評価ロジックの妥当性をチームで考えたり、クライアントとの協議結果を受けて調整を行ったりなどダイナミックで、やりがいがあります。

## Q. マネジャーになって変わったこと、気づいたことを教えてください

A. マネジャーになる前は実作業を担い、上位者から指示されるタスクに対して、いかに効率的に質の高いアウトプットを出せるかという視点で期待されていたかと思います。一方で、マネジャーになってからは、クライアントフェーシングやプロジェクトマネジメントなど、クライアントに次も仕事を任せていただけるように、満足度向上に向けて業務全体をどう進めていくのか検討・設計し、より俯瞰して業務を眺める立場に変わりました。昇格したてのころは役割の違いや業務の負荷に戸惑われることも多いかと思いますが、私自身も悩むこともありますが、パートナーやディレクターの意見を仰いだり、他のマネジャーに知見を求めたりとサポートを得やすい環境が整っているので、ありがたいと思っています。



## Q. 当社の魅力を教えてください。

A. 勤務に関してはフレックスタイム制や在宅勤務制を導入しているため、非常に働きやすいと思います。また、様々なバックグラウンドを持った人材が活躍しているため、特に中途入社の方はなじみやすいと考えています。資格取得に関しては、業務で必要なものであれば費用をサポートいただける制度や受験休暇制度を始め、自己学習支援の環境も整備されているので、働きながら資格取得を目指す方には魅力的と考えています。



## Q. 当社に関心を持っている方へメッセージをお願いします

知識を十分身に着けていくことが可能です。また、フラットでオープンな組織ですので、分らないことがあれば、気軽に先輩や同僚にも聞くことができ、安心して働ける環境であると思います。どのサービスラインでも共通することではありますが、バリュエーション業務においても大事なことは、クライアントのニーズや目的を的確に把握し、期待以上のサービスを提供することだと考えています。「専門性がないので挑戦できないのでは」と思われる皆様にも是非チャレンジいただければ幸いです。

# デジタル／フレキシブルワークを活用した文武両道のワークスタイル

※役職・内容はインタビュー当時のものになります。



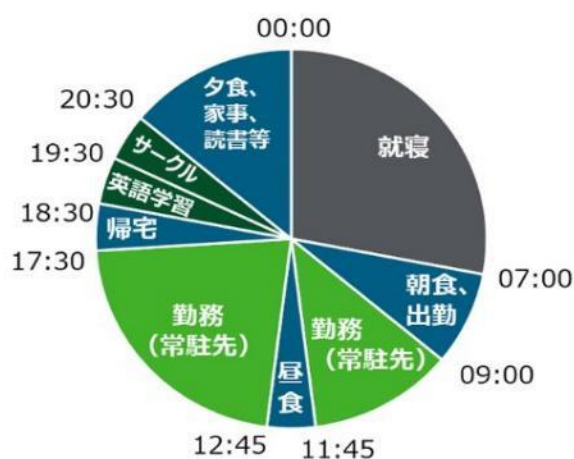
## U.T

合同会社デロイトトーマツ／ファイナンシャルアドバイザー  
デジタル アナリスト  
新卒入社／若手活躍／働く環境・魅力

ローテーション制度でストラテジーとデジタルの2つのサービスラインを経験。

コーチング面談をきっかけに上司と社内サークル(※)を立ち上げ、仕事も趣味も両立したライフスタイルを実現している。

デジタルの一案件にアサイン中のとある1日の働き方を紹介する。



## 9:00 始業、チームMTG

プロジェクトで一緒にいる社外メンバーとの打合せのため、外部拠点に常駐勤務しています。デジタルチーム内のAnalyticsメンバーの知見も活用し、Pythonで作成したツールを用いるなどして作業の自動化を行い、業務の最適化を進めています。朝のチームMTGにおいて、タスクスケジュールと対応方針についてメンバーで共通認識をもち、それぞれの担当パートを進行していきます。若手ではありますが、担当の作業を進行しながらも、次のマイルストーンに向けてタスクを抽出・配賦し、上長へ適宜、状況報告しています。



## 11:00 コーチング面談

月に1度程度、担当のコーチと業務内外の相談ができるコーチングという制度があり、コーチが他部門の上司ということもあり、ざっくばらんに相談に乗っていただきました。業務進行における悩みについて相談したところ、コーチの実体験を踏まえた視座の高いアドバイスをいただき、悩みの解消に向けて気持ちを切り替えて以降の業務に臨めました。



## 18:00 終業

朝のチームMTGですり合わせたタスクと、日中発生したスポットタスクを完了させ、チームメンバーに状況を共有して帰宅しました。繁閑の波が大きい案件のため、業務にメリハリをつけるためにも、閑散期は早めに帰宅するようチームメンバー同士で促しあっています。

## 18:30 英語学習

語学学習支援の一環として、デロイト トーマツ グループ合同の自己研鑽の任意研修として開催されている英会話レッスンを受講しました。以前海外案件に関与した際、語学の習熟度の問題から業務に時間を要したため、今後海外案件にアサインされた際により貢献できるよう、学習を継続しています。グループ合同でのレッスンのため、監査やコンサルティングなどグループ内の方々とフランクに関われる貴重な機会でもあります。ファイナンスアドバイザー以外の状況について業務の経験も交えて英語で会話でき、良い刺激になりました。



## 19:30 サークル活動

コーチング面談をきっかけに創設した「筋トレサークル」のメンバーと合同トレーニングを行いました。トレーニング後は懇親会も開催し、様々なサービスライン・インダストリー間で情報交換を行いました。個人でも、フィットネスジムに週2～3回通っております。繁忙期においても可能な限りジムに行き、意識的にアクティブレストに取り組んでいます。



## 休日 デロイト グループクラブ活動

ファイナンシャルアドバイザーのサークル活動のみに留まらず、デロイト トーマツ グループ合同でのクラブ活動である剣道部の活動にも月1～2回参加しています。活動にはパートナーも参加されるため、稽古後の懇親会では普段はなかなか話す機会のない職位の方から、様々な話を伺って普段の業務の糧としています。



## Uさんにインタビュー

### Q. 当社の魅力を教えてください。

A. ロールモデルとなる方が多く、様々な面で学ばせていただいております。入社決め手も、面接いただいたパートナーの方のスタンスに感銘を受けたことでした。優秀かつ多様な方々と案件を一緒にでき、多くの学びを糧にしていく中で、日々の業務に満足感を覚えています。サービスラインそれぞれに文化があり、現在所属しているデジタルでは「できない理由ではなく、できる方法を考える」という基本思想のもと、複雑な問題解決にメンバー丸で挑み、日々協働しています。

### Q. 今後の目標を教えてください。

A. まずはロールモデルの方々に倣い、案件への貢献度を着実に高めていきます。  
そして、チームにその学びを還元し、クライアントの期待を超える付加価値につなげるよう日々邁進していきます。

※ファイナンシャルアドバイザーのサークル活動制度

文化・スポーツ活動を通じて社員、従業員が横断的にコミュニケーションを図り、交流の活性化につなげることを目的としたサークル活動。

31のサークル\*が活動しており、文化系ではサウナや美食、国際交流サークル、スポーツ系ではサッカーやゴルフ、皇居ランサークル等があります。（\* 2024/6時点）

※ デロイト グループクラブ活動

デロイト トーマツ グループ内のどの法人に所属している社員でも加入できるグループ合同のクラブ活動。

Well-beingにつながる活動として、グループ内だけでなくアルムナイやBig4といったグループ外との交流や、合同練習を行っているクラブもあります。



## Uさんのコーチに取材

### H.S

合同会社デロイト トーマツ／ファイナンシャルアドバイザー

デロイト トーマツ スペース アンド セキュリティ合同会社

航空宇宙防衛 シニアマネジャー

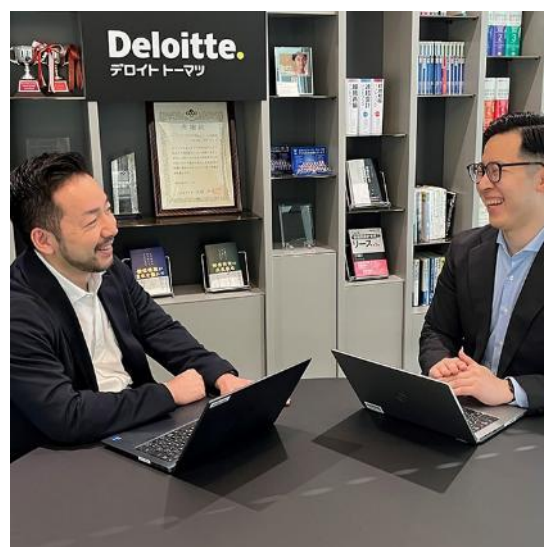
Sler／コンサルティングファーム出身 成長実感／働く環境・魅力／人材育成

大手インフラ企業、外資系メーカー、外資系コンサルティングファームを経て現職

超長期ビジョン策定やサステナビリティ推進、新規事業検討等、M&A案件のみならず幅広い戦略策定案件に従事

## Q.サークル立ち上げに至った経緯を教えてください

A. コーチング面談をする中で、Uさんから仕事上のお悩み相談がありました。その際に、「嫌なことがあったら体を動かすとスカッとするよ」とアドバイスをして、次第に一緒に合トレをするようにもなりました。するとUさんが仕事をエンジョイするようになり、こういう事がもっと社内に広がることを願って賛同いただけるメンバーを募り、筋トレサークルを立ち上げました。



## Q.当社の魅力とコーチングで意識されていることをおしえてください。

A. ファイナンシャルアドバイザーはM&Aばかりしている会社と思われがちですが、M&A以外の仕事もたくさんあり、ダイバーシティ、つまり "多様な人が多様な仕事をしている" というのが最大の魅力ですね。それが故のダイナミクスがファイナンシャルアドバイザーの魅力で、コーチングの際もそうやって元気づけることを意識して、メンバーが前向きになってもらえるように心掛けています。

## Q.今後の目標を教えてください。

A. ここ最近ではビジョン策定やパーパス策定など、抽象度の高い戦略策定をメインでやってきました。これまで世界各国に飛び回り様々な情勢を持つ地域を見てきたこともあり、防衛や安全保障に関心を持っています。

私自身が理系院卒ということもあるので、防衛・安全保障領域を中心に「〇〇×技術」といったテーマで、サービスを世界に発信していきたいと考えています。



## Q.当社に関心を持っている方へメッセージをお願いします。

Uさん

A. 多くのサービスラインとインダストリーのもとで、多様なプロフェッショナルとともに自らの描きたいキャリアを追求できる環境です。新卒社員にはローテーション制度で、「何をしたいか」を見つめられる機会も頂けるので、在りたい姿の実現のために是非チャレンジいただければと思います。

Hさん

A. 外から見るとデロイトは専門家集団あるいは手に職をつけようとする方が集まっている会社と思われがちですが、もちろん手に職を付けられるものの、実際はそれに留まるだけの集団ではないです。“デロイトという舞台”と“自分の強み”の掛け算をすることによって、もっともっとダイナミックに大きな挑戦をしたいという方に向いている環境だと思います。

# ストラテジー／育児と両立したプロフェッショナルのワークスタイル

※役職・内容はインタビュー当時のものになります。



## A.N

合同会社デロイト トーマツ／ファイナンシャルアドバイザー  
ストラテジー マネジャー

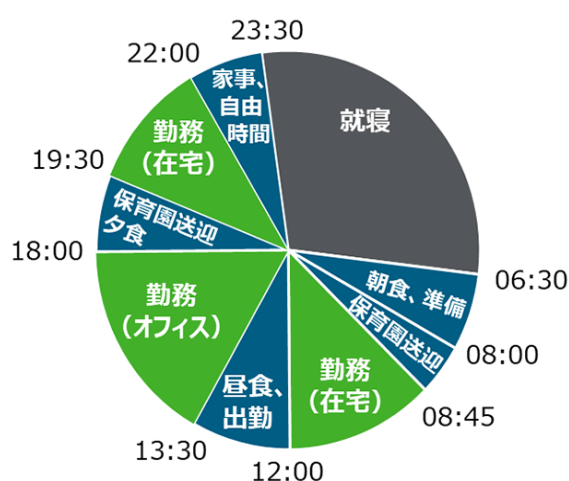
Sler／コンサルティングファーム出身

育児との両立／社風／働く環境・魅力

シニアコンサルタント時代に、第2子・第3子の双子誕生を機に  
2ヶ月半の育児休暇を取得。

復帰後、デロイトのフレックスタイム制度をフルに活用し、育児と  
仕事を両立。

現在は、子どもたちのお世話にいそしみながら、仕事でも日々刺  
激的な毎日を送っている。



## 6:30 起床、朝食

朝 6 時半に起きて、朝食の準備・子どもの着替えなどを行います。朝食を食べ終えたら、洗濯や皿洗いなど最低限の家事をして、8 時前には家を出ています。夫婦共働きのご家庭あるあるですが、朝はバタバタするので、前日に可能な準備はすべてして、朝の準備時間を短縮しています。



## 8:00 子供を保育園に登園

子どもを連れて、8 時頃に保育園に登園しています。夫婦2人で、子どもの登園バッグを持ち、3 人の子どもの手をつなぎながら登園するのは一苦労です（笑）登園後は、そのままオフィスへ出社することもあれば、リモートワークの日は帰宅することもあります。



## 8:45 始業（リモートワーク）

週によって頻度は異なりますが、週の半分ほどはリモートワークをしています。出社に伴う電車通勤を避けられる分、少し早めに集中して仕事に向かい合うことができます。社内の打ち合わせや、一部クライアントとの打ち合わせでは、オンラインで会議を行っています。



## 12:00 昼食、出勤

外食したり、自分で簡単な昼食を作って食べたりすることもあります。

## 13:30 業務再開（オフィス）

クライアントとの対面会議や訪問営業がある場合など、柔軟にオフィス出社とリモートワークを切り替えています。メンバーとも顔を合わせて会話することで、物事の検討や意見の擦り合わせが捗ることもあるため、顔を合わせる機会は大切にしています。

## 16:00 社内会議

マネジャーとして、プロジェクトの進捗管理や資料レビューをするなど、1日に1回はメンバーと定例会議を設けて状況を確認するようにしています。

また、特定のプロジェクト案件とは別に、1 on 1でスタッフ層のメンバーとフランクにコミュニケーションをとる場として、コーチング制度などの社内制度が設けられています。メンバーの近況報告や、今後のキャリアパス、健康面での留意点、ワークライフバランスに関する悩みなどを、個人個人が溜め込まず、定常的に相談できる場として仕組みが整えられています。



## 18:00 子どものお迎え、夕食

子どもの保育園お迎えの時間に合わせて、業務を一時中断します。保育園のお迎えも妻と一緒にいき、子ども3人を連れて帰ります。帰宅したらすぐに子ども3人をお風呂に入れ、可能な日は一緒に夕食を食べています。

## 19:30 業務再開（リモートワーク）

一時中断していた業務を再開します。

自分のところで溜まっていた作業を集中的に片づけたり、海外とのオンライン会議が入ったりします。



## 22:00 終業

終業の時間は、繁忙によって大きく異なります。

早く終わる日は定時前に終わることもあれば、最終報告の直前や繁忙期は深夜近くまで残業することもあります。



## Aさんにインタビュー

**Q. 育休を2ヶ月半取得したと思いますが、育休取得に対する会社からの反応を教えてください。**

A. 私が育休取得の相談をした時期は、デロイトとしても社会全体としても育休を取得する事例がそこまで多くなかった時期でした。参考にする先輩があまりいない中、上司に相談を持ち掛けたところ、非常に親身に相談にのっていただき育休取得の背中を後押ししていただきました。またプロジェクトメンバーの先輩や同僚にも温かく送り出していただきました。

**Q. 育児と仕事の両立について、ざっくばらんに教えてください。**

A. 小さい子どもの育児（特に第2子以降）は本当に大変で、時間的にも体力的にも制約が増えてしまう面はあるかなと思います。一方、自身がより長くこの仕事に関わっていきたいと考え、家族としての時間を尊重することも同様に大切だと思います。そのため、育休復職後はこれまでの仕事の非効率を見直すことも自ずと強いられますし、その結果として両立していくスキルを身に付けていくことになるのかなと思います。

**Q. 当社の魅力を教えてください。**

A. ファイナンシャルアドバイザーはM&Aアドバイザー業界にポジションしているため、業務面でタフな状況に身を置くこともしばしばありますが、裏を返すとワクワクする刺激的な毎日を送ることができる環境だと思います。会社が成長するにつれ多様な人材が当社に集まってくる中で、それぞれがこの会社で働きたい・働きやすいと思える環境が整えられており、またその環境をより良くしていこうという会社の方向性に大変共感しています。



**Q. 今後の目標を教えてください。**

A. やはりこの仕事を通じてM&Aのダイナミクスに関わっていることはやりがいにもなりますし、刺激的な仕事だと感じます。一つ一つの案件を大切にしていきながら、今後はより大きな業界再編や顧客により大きなインパクトを与えていけるようなM&A案件に携わり貢献していきたいと思っています。





## 他の育休・産休取得者にインタビュー

### I.K

合同会社デロイト トーマツ／ファイナンシャルアドバイザー  
インフラ・公共セクターアドバイザー シニアコンサルタント  
育児との両立／クロスボーダー／女性活躍

コンサルタント時代に、8か月間の産休・育休を取得。

復帰後、デロイト トーマツ グループ独自のフレキシブル・ワーキングプログラム制度(※)やデロイトのフレキシブルな環境をフルに活用し、育児と仕事を両立している。

### Q. 普段行われている業務を教えてください。

A. 国際開発領域における、主にインフラファイナンス分野の案件に従事しています。キャリアの目標として、「投融資を通じて発展途上国に貢献すること」をあげています。

### Q. 産休・育休制度の良かった点を教えてください。

A. 家族と一緒にいる時間を長くとることができました。復帰後の時短勤務の際にも、夕方の早い時間に子供の保育園お迎えをすることができておりました。



### Q. 産休・育休制度についてどのように活用されたか教えてください。

A. 産休においては、労働基準法で定められている期間よりも長く取得いたしました。また復帰後もFWP（※フレキシブル・ワーキング・プログラム）を利用し、育児と仕事を両立しています。

### Q. 当社の魅力を教えてください。

A. 仕事に打ち込みたい時期にはキャリア構築に資するような多様な業務に従事することができる一方で、ライフステージに合わせて柔軟に働き方を変えることができる制度や風土があります。

### ※フレキシブル・ワーキングプログラム（FWP）

妊娠、育児、介護、不妊治療により休職/勤務軽減を希望される方に対し、法定の制度とは別途に会社独自制度としてFWP制度を設けています。